

秋川健康会館とあきる野保健相談所の再編等の考え方

1 概要

市の保健福祉機能（障害者支援、母子保健など）の集約化を目指しながら、秋川健康会館とあきる野保健相談所を集約化・複合化する方針を定めます。今後、他の公共施設の再編等の方向性を検討しながら、他の公共施設の保健福祉機能をさらに集約化することも想定しています。施設ごとの計画内容は、「再編等に関する実施計画」をご覧ください。

※ 集約化・複合化する位置は、「現あきる野保健相談所敷地」か「新事業用地」を想定し、今後検討していきます。

※ 秋川健康会館は、あきる野保健相談所と同じ位置に移転します。現在の秋川健康会館の建物は廃止（取壊し）する予定です。

※ あきる野保健相談所は、集約化・複合化の位置が新事業用地となった場合や現地建替えとなった場合、現在のあきる野保健相談所の建物は、移転・廃止（取壊し）する場合があります。

2 再編等のイメージ

（現状）

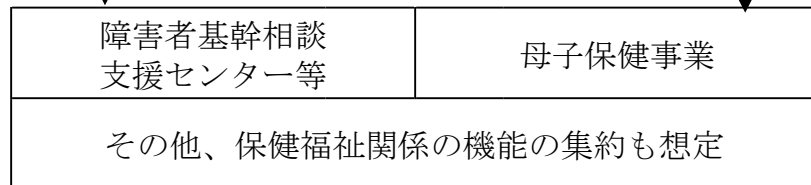
秋川健康会館
（障害者基幹相談支援
センター等）

あきる野保健相談所
（母子保健事業）

移転

（移転）

（再編後）



集約化・複合化

※ 集約化・複合化する位置は、「現あきる野保健相談所敷地」か「新事業用地」を想定し、別途検討します。

3 再編等の方向性の内容（施設ごと）

個別施設計画を基に再編等の方向性の選択肢を設定し、「①床面積の縮減の度合い」「②利便性への影響の度合い」「③機能重複の解消の度合い」「④コストの低減の度合い」「⑤避難所、投票所などの重要な機能への影響の度合い」を評価し、採用する再編等の方向性を選定しました。

施設名称	個別施設計画を踏まえた 再編等の方向性		再編等に関する実施計画（案）		
	選択肢 1	選択肢 2	採用した 再編等の方向性	同時に行う対応	理由など
秋川健康 会館	移転・複合化、 集約化 （分散している 同種機能を集約 化・複合化）	現状維持 （利用者数が最 適化された状態 を維持）	移転・複合化、 集約化	廃止	「移転・複合化、集約化」が、「現状維持」と比較して、「①床面積の縮減の度合い」「②利便性への影響の度合い」の評価が高かったことから、再編等の方向性として採用しました。 ※ 現在の建物は廃止する予定です。
あきる野 保健相談 所	集約化・複合化、 （移転） （分散している 同種機能を集約 化・複合化）	移転 （機能を移転）	集約化・複合化、 （移転）	（廃止）	「集約化・複合化、（移転）」が、「移転」と比較して、「①床面積の縮減の度合い」「③機能重複の解消の度合い」の評価が高かったことから、再編等の方向性として採用しました。 ※ 集約化・複合化の位置が新事業用地となった場合や現地建替えとなった場合、現在のあきる野保健相談所は移転・廃止（取壊し）する場合があります。